

令和2年7月吉日  
日本木材青壮年団体連合会 会長 多田 啓  
副会長 折高 行弘  
木育創造委員長 清水 文孝

## 第45回全国児童・生徒木工工作コンクールについての御連絡

まず始めにこの度の新型コロナウイルス感染症に罹患された方とご家族・関係者の皆様に謹んでお見舞い申し上げます。また、医療機関や行政機関、教育関係者の方々など、感染拡大防止に日々ご尽力されている皆様に深く感謝申し上げます。

また例年当会主催の全国児童・生徒木工工作コンクールに御参加頂いております、小・中学校の児童の皆さんを始めとする、関係各位の皆様には重ねて御礼申し上げます。

日本木材青壮年団体連合会では掲題に御座います、第45回全国児童・生徒木工工作コンクールの開催を予定しておりましたが、今般の新型コロナウイルスの影響を受け、緊急事態宣言が解除後も夏休みを含む学校行事の開催時期の先行きも不透明な状況であると推察しております。また参加者に於ける資材調達の際の感染リスク・ご家族と一緒に製作時間・現時点で未決定である審査及び表彰などの日程を含め協議を重ねて参りました。

改めて当コンクールの運営趣旨でもある、

『子どもの自由な発想、木材への興味など無限の可能性を引き出し、将来を担う子どもたちの新たな視点で木材と向き合う事で、木材活用の新たな創造のヒントとなり、木工工作を通じて多くの子供達が「木」に触れて、感受性や創造性に富んだ社会人に成長してくれる事を目的とする』を熟考し、新型コロナウイルス感染予防におけるステイホームの中においても、お子様達の発想力や作品製作に向けての情熱、ご家族との大切なコミュニケーションの時間が最も大切と考え第45回全国児童・生徒木工工作コンクールを開催したいと考えております。

また例年通りの募集スケジュールでは本コンクールに参加出来ない児童も出てくることを想定し、学校関係者の皆様には無理を申し上げますが事前に御相談をさせて頂きたく御連絡を差し上げました。

しかしながら状況により審査・表彰日程については現段階ではあくまでも、現時点では暫定となっており、詳細につきましては令和2年6月末頃に当会ホームページに掲載させて頂く予定をしておりますので別途ご確認お願い申し上げます。

※審査・表彰スケジュールについては状況により変更になる場合も御座いますが随時ホームページにて情報の公開を行って参ります。

一日でも早い新型コロナウイルス感染症の終息と、皆様のご健康を心よりお祈り申し上げます。

## 第45回全国児童・生徒木工工作コンクール実施要綱（暫定）

### ●暫定実施日程

一次審査 令和3年 1月 9日（土）頃（予定）

最終審査 令和3年 3月13日（土）頃（予定）

結果伝達 令和3年 3月28日（日）頃（予定）

表彰式 令和3年 6月19日（土）

表彰式会場：熊本市（日本木材青壮年団体連合会 第66回 全国会員九州熊本大会）

※実施日程については変更となる可能性が御座います。

### ●審査委員（予定）

委員長 全国造形教育連盟

全国木材組合連合会

日本木材青壮年団体連合会

日本木青連 木育創造委員会 敬称略・順不同

※その他後援・協賛については現在確認中ですので決定後に当会ホームページに掲載

※2020年6月末頃のホームページ掲載を予定

### ●表彰

応募作品は、小学校低中学年（1～4年）、小学校高学年（5，6年）、中学校（全学年）の3部門に分け、それぞれの優秀作品に対して下記の表彰を授与致します。

※グループにて申し込みの作品についてはグループ名とする。

### ●応募部門

第1部門 小学校低中学年（1～4年の児童）の部

第2部門 小学校高学年（5，6年の児童）の部

第3部門 中学校（全生徒）の部

※募集点数については、部門を問わず合計6作品までとします。

対象部門の応募が無い場合は同部門で6作品まで応募が可能です。

※小・中学校の児童・生徒が在籍学校を通じて、個人またはグループでの応募とします。

### ●応募期間

令和2年9月7日（予定）から令和2年12月14日（予定）

## ●応募詳細

全国児童・生徒木工工作コンクールは、各都道府県によって応募方法が異なります。

### パターン① 木工工作コンクールを実施している都道府県の場合

都道府県単位での応募となります。対象地域の木工工作コンクールでの優秀作品を、指定のエントリーシートにて応募します。

※対応は各都道府県の日本木材青壮年団体連合会の所属会員が行います。

### パターン② 都道府県単位で木工工作コンクールを実施していない場合

各団体・学校単位での応募となります。応募希望者が応募作品を、指定のエントリーシートにて各自応募となります。

※対応は各団体・学校単位でお願い致します。

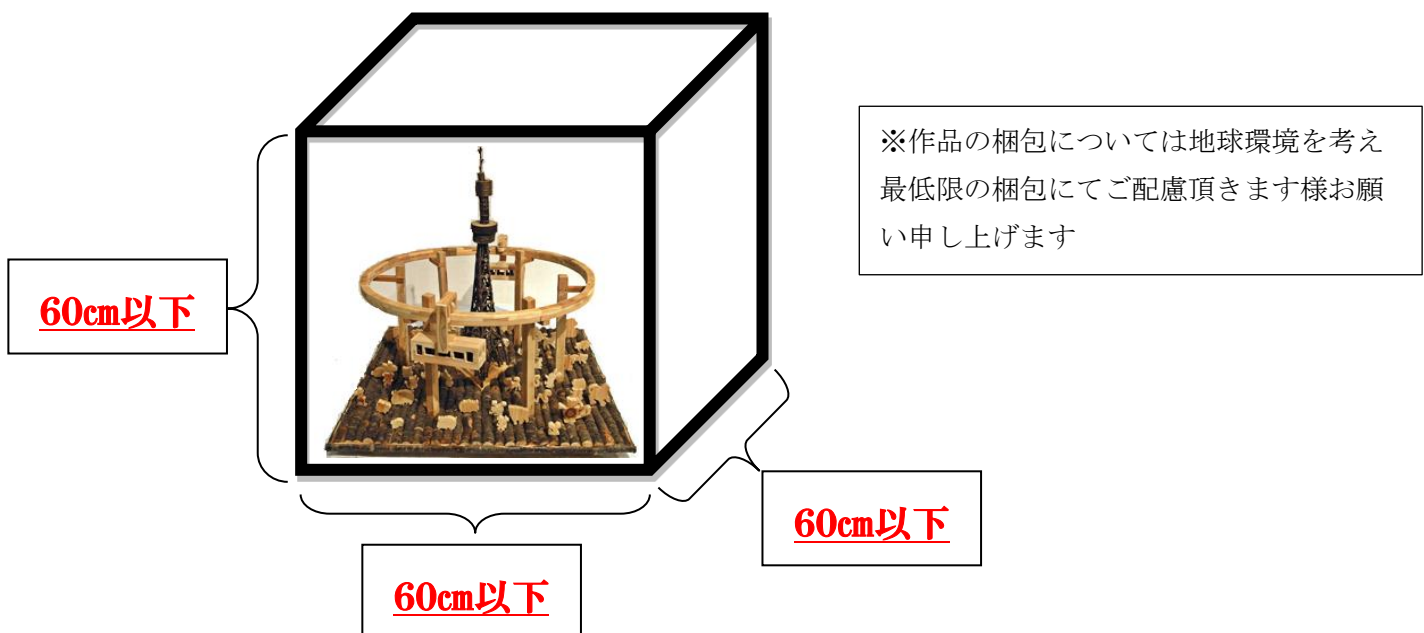
エントリーシートの詳細につきましては日本木材青壮年団体連合会公式 Web サイト内の木工工作コンクール特設ページに8月末に掲載予定です。各自・各応募団体様でダウンロード後、記入例に従って記入をお願い致します。

※新型コロナウイルスの関連で日程・審査委員・入賞作品数などの変更になる可能性が御座いますので上記期日に掲載の内容を最終情報とし、当会ホームページに掲載致します。

## ●作品基準【重要】

- ・木材を主材料として利用・加工した創作品であること
- ・作品の大きさは縦・横・高さ・台を含めて **60cm** を超えないものであること（展開、広げて展示する作品も **60cm** を超える作品は不可としますのでご注意ください）

## ※作品基準【図解】



## ●その他注意事項

《注1》作品の間違いを防ぐため、**作品写真**を添付し必ずPDF化してエントリー願います。

※写真は必ず5面（前・後・左・右・上）撮影ください。

《注2》作品の発送をする際は、作品が輸送で壊れないよう十分な緩衝剤（発泡系や新聞紙等）を入れた状態で梱包後に発送して下さい。

《注3》梱包は必ず**1作品1梱包**ずつ別々にお問い合わせ致します。

《注4》梱包済み作品を大型ケースに同梱した、コンテナ発送はご遠慮ください。

《注5》輸送時に破損する事故が非常に多いです。私たちも細心の注意を払ってご返送いたしておりますが、万が一輸送時に破損した場合は当会にて責任を取りかねますのでご了承頂きますようお願い申し上げます。

※特にグルーガン等を使用した作品は輸送時の衝撃で接着剥離の可能性が高いです。

## ●審査方法

審査については、全部で3段階の審査があります。

STEP① 各都道府県審査・・・審査日：各地域スケジュール

各都道府県で開催される木工工作コンクールにて審査を行います。

審査方法については各都道府県によって異なります。

STEP② 一次審査・・・・・・・審査日：令和3年1月9日（土）

各都道府県よりエントリーされた作品に対して、審査委員会がエントリーシートによる書類審査を行います。一次審査を通過した作品については、後日各学校にご連絡致しますので、作品の送付準備をお願いいたします。

※送付先・時期については、当委員会より各会団もしくは各団体・学校へ連絡致します。

※2021年1月中旬頃を予定しています。

※送付費用については、応募される各団体・学校の負担と致します。

STEP③ 最終審査・・・・・・・審査日：令和3年3月13日（土）

一次審査を通過した作品に対して、審査委員会が現物を確認し厳正に審査を行います。

## ●個人情報の取り扱いについて

・応募に際しご提供いただいた個人情報は、「全国児童・生徒木工工作コンクール」の業務運営のみに使用させていただきます。

・入選作品は、当団体広報誌、一般紙、Webサイト等で学校名、氏名、学年を含めて公開する場合があります。

## テーマ 『木の可能性～WOOD CHANGE～』

「木」は太古の昔より我々人間の生活と大きな関わりを持っています。数十年もの時間を掛けて成長する中で伐採期を迎えるまでは二酸化炭素を吸収し酸素に変え、生態系を維持する等、多面的な機能を担ってくれています。また伐採後に木材となった後も住宅をはじめとする我々の生活の多くを支えています。

昨今では、様々な業界が木材という資源に注目し、新たな木材利用における新技術開発が日々進んでおり、従来使用されていなかった場所・物等にも木材が利用できる可能性が出てきています。例えば中高層ビルは鉄骨やコンクリートでの構造躯体が当たり前でしたが、CLT (Cross Laminated Timber の略称) として「鉄」や「コンクリート」の代わりに木材が活用され、身近な所では「プラスチック」の代わりに木製ストローが普及している等、従来では無かった用途が開発されています。また一方では従来「木材」を用いて作られていた物が、様々な理由で別の素材に変わっている現状もございます。

そんな時代の変化の中で未来を担う子供たちに「〇〇が木で出来たら！」「もし〇〇が木だったら！」という新たな視点で自由に表現して貰う事を本年度のテーマとしました。一言に木材といっても色・木目・節・皮・木粉・樹液・枝 etc 様々な部位があります。果たして木材の反対語とは何でしょう？お友達や家族で話し合ってみてください。その気付きこそが答えであり、木材で表現する事に是非チャレンジしてみてください。子供達の自由な発想こそが未来における「木」の新たな可能性の創造に繋がるのではないかと考えております。

また木工工作を通じて多くの子供達が「木」に触れて、感受性や創造性に富んだ社会人に成長してくれること、そして将来温もりある社会を築いてくれることを願い、家族、学校関係者、行政、木材関係者はもとより、老若男女問わず多くの人を巻き込んで皆さんで「木」の可能性を考えてみたいと思います。

## ●審査のポイント

今年度のテーマ 『木の可能性～WOOD CHANGE～』です。

未来を担う子供たちに「〇〇が木で出来たら!」「もし〇〇が木だったら!」という新たな視点で自由に表現して貰う事を目的としています。一言に木材といっても色・木目・節・皮・木粉・樹液・枝など含む様々な部位があります。果たして木材の反対語とは何でしょう?お友達や先生、また家族で話し合う所から作品テーマを決めて頂きたいと思います。

当然ながら決まった答えは御座いません。その「気付き」が答えであり、その答えを木材で表現する事にチャレンジして貰いたいと考えています。

木工工作コンクールを通して様々な人とコミュニケーションを取りながら作品を決定し自由な発想で表現することを大切に考えております。子供たちの「気付き」×「木材のどの部位を使って表現するか?」を審査会では大きく評価して参ります。

各学年としての発想に留意し、下記の各項を満たすもの。

子供達が自らコミュニケーションを取りながら作品テーマを考え、

1. アイディアに独創性があるか
2. 再現性・写実性に優れているか
3. ファンタジーや夢があるか
4. 木の自然の良さや、適材の部位で表現されているか
5. デザイン・機能が優れているか

## ●問い合わせ先

○日本木材青壮年団体連合会

木育創造委員会 委員長 清水 文孝  
〒542-0081 大阪府大阪市中央区南船場 1-18-17  
商工中金船場ビル 13 階 丸紅木材(株)内  
FAX 06-6260-1181  
[shimizu@marubenilumber.co.jp](mailto:shimizu@marubenilumber.co.jp)

※基本メールか、FAX にてお願い致します。

○日本木材青壮年団体連合会事務局

事務局 川端 咲子  
〒135-0041 東京都江東区冬木 6-14-102  
TEL 03-5620-4806  
FAX 03-5620-4809

※こちらは受付のみとなります。

※ご返答は後日折り返しさせていただきます。

○各都道府県コンクール事務局

令和2年7月中旬頃～12月上旬の間で各都道府県において実施される審査が行われます。各都道府県の審査を経て一次審査(令和3年1月9日)、及び最終審査(令和3年3月13日)の対象作品となります(詳細は日本木材青壮年団体連合会公式 Web サイト内の木工工作コンクール特設ページをご確認下さい。不明点は担当者一覧に記載されている実施地域の担当者までお尋ね下さい)